# 株主通信

2021年3月期（通期）

2020年4月1日から2021年3月31日まで

**第一工業製薬株式会社**

証券コード:4461

Contents


トップインタビュー ..... 1


## 「輝く栄冠をいざなう」

FELIZ（幸福）実現へ向けた道のりを歩み続けます


財務データ（連結） ..... 2

DKS Close-up ..... 3

事業セグメントの概況 ..... 4

連結財務情報 ..... 5

決議結果・株式の状況 ..... 6

会社概要 ..... 7

# 輝く栄冠をいざなう

FELIZ（幸福）実現へ向けた道のりを歩み続けます

代表取締役 会長 兼 社長　坂本隆司

**新中期経営計画「FELIZ 115」の初年度となった2021年3月期（以下、「当期」）は、コロナ禍に見舞われた1年でした。足元を見つめ直し、計画の妥当性は揺るぎないと再確認しました。全社員一丸となって着実に歩みを進めます。**

## 「FELIZ 115」計画初年度の振り返り

新型コロナウイルスの世界的大流行は、歴史上で初めて、人間の活動を止めた経済危機を引き起こしました。この厳しい状況下で、2020年4月に5カ年経営計画「FELIZ 115」は第一歩を踏み出しました。コロナ禍の1年間に、スペイン語で「幸福」を意味する「FELIZ」戦略の社会的意義を改めて確かめました。2030年までにSDGs課題を解決、達成し、次の100年を生き残るための変革を進める計画です。計画初年度の第3四半期から今年2月中旬までの業績は、コロナ禍の影響を大きく受けました。現在は回復基調にあり、当期は対前期比で減収増益になりました。既存事業の不採算部門の値上げが収益改善の要因です。中期経営計画の最終年度の連結売上高850億円、営業利益100億円を目指す基盤が強固になったと判断しています。東京証券取引所と経済産業省の「健康経営銘柄」と、スポーツ庁の「スポーツエールカンパニー」に、2年連続で選ばれました。

## 計画を実現する体制の整備強化について

当社は、12年間にわたる事業部制により、組織ごとの収益意識の向上を図ってきました。計画の初年度である当期より、生産、営業、研究、管理の4本部制に切り替えました。長期的、横断的な全体最適志向で中期経営計画を着実に推進する体制です。

生産本部は時間とコストで考える効率化意識や、DX（デジタルトランスフォーメーション）化に対する取り組み意識を劇的に高めました。営業本部では、顧客ニーズを意識した営業活動を計画的に展開しています。研究本部では市場のニーズ、要望に応えて成果を出す組織に一新し、今年4月に人事異動を行いました。新規事業のテーマの確定、製品化への促進と、そのための設備投資という道筋づくりを進めています。管理本部においても、前計画で始めたスマート化を本格化させるとともに、戦略立案の機能を加速します。幸せの基本となる健康経営をさらに充実させます。

## 新規事業投資の推進について

「REACT1000」、前計画では、有力顧客の需要に対する設備投資や、新規事業のためのM＆Aを積極的に行ってまいりました。その結果、当期末の総資産は850億円になりました。効率的な資産活用を行えば、2025年3月期の売上高850億円を実現できる規模です。安定成長を可能にする設備投資やM＆Aには、研究の成果が前提となります。

当社には、合成、配合、評価・分析、応用を核とした多様な技術ポートフォリオがあります。これは当社の価値創造の源泉です。市場における優位性と将来性の観点から特長のある対象を選定し、経営資源を配分します。そして、そこから生み出される製品、技術に対して新しい設備投資を行います。新事業開発において閃き合えるインスパイアード・パートナーとして、需要を牽引する有力企業との連携強化を進めます。

2018年に本格的に参入したライフサイエンス分野の事業確立は、大きなテーマです。今回新たにライフサイエンス事業統括部を創設し、社長直轄としました。全国の自治体、大学、ベンチャー企業など外部との連携による養蚕イノベーションを前進させます。事業領域をさらに拡大するM&Aも重要な選択肢です。

## ガバナンスの強化とグローバリゼーション

コロナ禍を契機に、国内のみならず海外投資家ともオンラインによる接点を持つように心がけています。春のカンファレンスでは、国際学術誌に掲載された当社の脳神経科学関係の論文への質問が集中しました。ニューヨークの機関投資家でした。

役員報酬や後継者育成に関しては、社外役員の諮問機関であるアドバイザリー・ボードを設置します。地方創生や温室効果ガスゼロ政策に呼応して、自治体や大学、企業等との連携を国内外に発信する窓口部署を創ります。

デジタル化の進展により、グローバリゼーションの流れが変質しています。海外市場と接点のあるインスパイアード・パートナーを通して、世界市場で当社の製品や技術が評価され、会社全体の業績を伸ばす。これが当社の国際化、グローバリゼーションだと考えています。そのためのマーケティング戦略策定に着手してまいります。

## 株主の皆さまへ

コロナ禍収束の目途は見通せず、先行きは不透明な状況が続いています。しかし、現在の経営計画、「FELIZ 115」は、第一工業製薬が未来に進む最良の道のりだと確信しております。創業115周年を迎える2025年に向かって、幸福度経営を推進してまいります。幸せを求めて、行動する企業であり続けます。株主の皆さまには、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 財務データ（連結）

### 売上高（百万円）

前期比 -3.8%

### 営業利益（百万円）

前期比 +8.0%

### 経常利益（百万円）

前期比 +22.4%

### 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益（百万円）

前期比 +27.2%

FELIZ115 2020－2025

未来 FUTURE

# ものづくり現場における新たなチャレンジ

四日市工場（1939年～千歳地区、2015年～霞地区）、大潟工場（1960年～）、滋賀工場（1969年～）を統括する生産本部では、「FELIZ 115」計画のもと、『顧客』『利益』『DX（デジタルトランスフォーメーション）』をキーワードに仕組みを作り、行動や意識を変革する取り組みを強化しています。アジャイル（機敏かつ柔軟）な組織運営のもと、生産本部が一丸となって変革に取り組んでいます。（清水）

| 泉野 諭 | 山口 滉太 | 清水 伸二 | 平 紗奈江 | 堀田 優介 | 井川 稜冬 |
|---|---|---|---|---|---|
| 四日市工場<br>生産技術部<br>グループ長 | 滋賀工場<br>保全原動課 | 生産本部<br>本部長 | 四日市工場<br>霞地区<br>製造部 | 生産本部<br>生産管理部 | 四日市工場<br>霞地区<br>製造部 |

## 生産技術、生産管理における新たな取り組み

**泉野：**これまで、滋賀工場の保全や、大潟工場、四日市工場霞のプラント設計・建設に携わってきました。当社の生産技術は、材料を釜で混ぜて反応させるバッチと呼ばれる製法が主流ですが、高品質用として、連続式の抽出や混錬、蒸留など、高度な技術も保有しています。現在は、自動化を取り入れる一方、人の作業が必要な現場の作業負荷を軽減するために補助装置を導入するなどの対策を行っています。

**堀田：**2017年に入社、製造業務に従事後、2020年4月に在庫管理および生産計画に携わる部門に異動しましたが、在庫の過多が会社の損益に大きく影響すること、予測の精度が非常に重要であることを強く意識するようになりました。製品原価や予算の価格決定要因となる製造コスト管理を行うなかで、製品ごとのコストを一覧できるデータベース「生産コスト早見表」の構築にも携わりました。今後は、需要管理と収益向上を目的に、DXを通じたデータ活用や多種少量品の品目数・仕様・納期・商流を削減することで、生産プロセスの最適化に取り組みたいと考えています。

## インスパイアード・パートナーモデルのものづくり

**泉野：**パートナーと共同で、簡単には生産できない製品を技術開発から行うことが多いので、一部に従来のプラントにはない独自の技術や装置が入っていることが四日市工場霞の特徴です。加えて、当社のマザー工場として、最新技術や効率化・高効率設備の導入はもちろん、既存の生産技術を集約し、より磨きをかける形で設計・建築を進めました。当初から、お客様視点に立ち、働きやすさや化学工場のイメージを重視した設計を達成したことも従来と異なる点です。

**平：**2018年の入社後、滋賀工場の品質管理課を経て、2020年秋に四日市工場霞に異動しました。電子材料製品の工程管理や工程中の品質確認などを行っています。霞は最新設備を導入し、作業環境の改善が進んでいます。ここ数年、製造現場での女性雇用が進み、省力化用設備の導入など女性目線による改善がなされた結果、力のいる作業や操作位置の高い作業など、怪我につながる作業はかなり減りました。今後も女性目線に立ち、より働きやすい環境づくりに貢献していきたいと思います。

**井川：**2017年に入社後、大潟工場で製造に従事、2020年夏に四日市工場霞に異動しました。霞は、パートナーごとのニーズに合った形で専用設備化することで、品質の安定化と生産効率を高めています。時間の経過とともに設備の老朽化が進みますので、既存設備の生産能力向上や安定供給が今後非常に重要になるでしょう。DXを軸にデータの可視化や解析を行うことで、生産効率・工程の改善や予防保全につなげ、パートナーのニーズにしっかり対応し続けたいと考えています。

## 滋賀工場における設備保全

**山口：**老朽化した設備を故障などで停止させず安全・安定生産につなげ、収益改善に貢献することを目指しています。設備に様々なセンサーを設置し、電流、振動、音響を測定し、クラウド環境で管理していますが、これら保全システムは自社で設計し、安価に運用することで、原価低減に努めています。また、故障の兆候が見られた場合は、即時に製造や設備の管理者に知らせる取り組みを推進しています。さらに、GX（グリーントランスフォーメーション）や環境対策を組み合わせ、環境に配慮しながら利益を創出し、地域創生に貢献できる工場を実現したいです。

# 事業セグメントの概況

## 界面活性剤事業

売上高
173億3百万円
前期比 -8.8%

営業利益
17億52百万円
前期比 +33.6%

売上高構成比
29.3%

国内では、IT・電子用途は堅調に推移しましたが、機械・金属、繊維用途は低調に推移し、ゴム・プラスチック用途は大きく落ち込みました。新型コロナウイルスの影響により、業務用の石鹸・洗剤用途も大きく落ち込みました。

## ウレタン材料事業

売上高
74億84百万円
前期比 -11.6%

営業利益
△2億82百万円
前期は2億35百万円の損失

売上高構成比
12.7%

機能性ウレタンは、IT・電子用途が大幅に伸長した一方、建築用途等は大きく落ち込みました。土木用薬剤は堅調に推移しました。自動車関連分野の低迷からフロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油は大きく落ち込みました。

## 電子デバイス材料事業

売上高
57億58百万円
前期比 +21.4%

営業利益
4億30百万円
前期比 +28.4%

売上高構成比
9.7%

ディスプレイ用途のイオン液体、太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長しました。

## アメニティ材料事業

売上高
70億81百万円
前期比 -11.4%

営業利益
72百万円
前期比 -74.2%

売上高構成比
12.0%

セルロース系高分子材料は、国内ではエネルギー・環境、医薬品用途が低調に推移しました。ショ糖脂肪酸エステルは、国内では食品用途が低調に推移し、海外でも、香粧品用途が低調に推移し、食品用途は大きく落ち込みました。

## 機能材料事業

売上高
210億77百万円
前期比 +1.1%

営業利益
29億33百万円
前期比 +3.6%

売上高構成比
35.6%

難燃剤は、ゴム・プラスチック用途が、国内では低調に推移しましたが、海外では堅調に推移しました。光硬化樹脂用材料は、IT・電子用途が、国内では大幅に伸長し、海外では堅調に推移しました。

## ライフサイエンス事業

売上高
4億35百万円
前期比 +1.7%

営業利益
△4億21百万円
前期は3億70百万円の損失

売上高構成比
0.7%

医薬品添加物や天然素材からの抽出物の濃縮化、粉末化による健康食品等の受託事業は堅調に推移しました。

# 連結財務情報

## 連結貸借対照表 （百万円）

## 連結キャッシュ・フロー計算書 （百万円）

## 連結損益計算書 （百万円）

## ポイント

### ① 総資産

前連結会計年度末に比べ32億96百万円増加し、850億33百万円となりました。流動資産は、主に受取手形及び売掛金が6億66百万円減少しましたが、現金及び預金が12億58百万円、商品及び製品などのたな卸資産の合計が8億15百万円増加しました。固定資産は、主に四日市工場霞地区における光硬化樹脂用材料製造設備の建設及び投資有価証券の増加により、18億94百万円増加しました。

### ② 純資産

前連結会計年度末に比べ31億39百万円増加し、374億4百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益25億63百万円及び剰余金の配当7億12百万円により利益剰余金が18億51百万円、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が10億21百万円増加したことなどによるものです。

### ③ 営業利益

前連結会計年度に比べ3億31百万円増加し、44億85百万円となりました。これは、『電子デバイス材料』セグメントの増収や価格是正、拡売等の営業努力に加え、外出自粛や移動制限などにより営業経費が減少したことによるものです。

### ④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は38億4百万円となりました。これは投資有価証券の売却による収入が10億27百万円ありましたが、主に有形固定資産の取得による支出43億98百万円（前期は55億38百万円）により資金が減少したことによるものです。

# 決議結果

## 第157期定時株主総会決議のご通知

2021年6月25日開催の第157期定時株主総会は、お蔭様をもちまして終了いたしました。その決議の結果につきましては、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しております。

こちらをご覧ください
**https://www.dks-web.co.jp**

# 株式の状況（2021年3月31日現在）

## 株主分布状況

### 株主数比率

| | |
|---|---|
| 個人・その他 | 93.51% |
| 外国法人等 | 2.76% |
| その他法人 | 2.08% |
| 金融商品取引業者 | 0.91% |
| 金融機関 | 0.72% |
| 自己名義株式 | 0.02% |

### 株式数比率

| | |
|---|---|
| 金融機関 | 49.29% |
| 個人・その他 | 24.02% |
| 外国法人等 | 13.60% |
| その他法人 | 5.93% |
| 自己名義株式 | 4.77% |
| 金融商品取引業者 | 2.39% |

## 大株主一覧（上位10名）

| 株主名 | 所有株数（株） | 持株比率（%） |
|---|---|---|
| 株式会社日本カストディ銀行（信託口） | 1,385,800 | 13.62 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） | 810,200 | 7.96 |
| 第一生命保険株式会社 | 613,400 | 6.03 |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS | 510,000 | 5.01 |
| 株式会社みずほ銀行 | 427,000 | 4.20 |
| 株式会社京都銀行 | 417,000 | 4.10 |
| 朝日生命保険相互会社 | 339,400 | 3.34 |
| DKS取引先持株会 | 306,900 | 3.02 |
| 第一工業製薬従業員持株会 | 269,628 | 2.65 |
| JPMBL RE NOMURA INTERNATIONAL PLC 1 COLL EQUITY | 162,552 | 1.60 |

（注）1.当社は自己株式を509,423株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株主優待のご紹介

### 対象となる株主様

3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式
**100株（1単元）以上**
を保有する株主様

### 贈呈時期

7月上旬頃の発送を予定しております
※日本郵便「ゆうパック」にて配送

### 株主優待の内容

| 保有株式数 | 優待商品 「カイコ冬虫夏草」7日分（56粒）（株）バイオコクーン研究所 | 「スダチン」1カ月分（60錠）池田薬草（株） | 「カイコ冬虫夏草」「スダチン」株主優待特別販売クーポン |
|---|---|---|---|
| 100株以上～1,000株未満 約3,000円相当 | | ―― | カイコ冬虫夏草 1カ月分 箱タイプ240粒（4粒×60袋） 36%OFF 送料・代引手数料無料 通常価格11,220円（税込）→株主優待価格7,000円（税込） |
| 1,000株以上 約6,000円相当 | | | Sudachin®（スダチン） 1カ月分 60錠 20%OFF 送料・代引手数料無料 通常価格2,700円（税込）→株主優待価格2,160円（税込） |

**カイコ冬虫夏草**
冬虫夏草は、中国では古くから漢方素材として用いられてきました。今年1月カイコ冬虫夏草から新規有用成分「ナトリード®」を発見し、その機能性を国際学術誌に論文掲載しました。

**スダチン**
すだちの果皮から抽出、精製したエキスですだち特有のポリフェノール「スダチチン」を含みます。徳島県、徳島大学と共同で「スダチチン」の研究開発を行い、昨年2月から飲みやすい錠剤タイプの健康食品として販売開始しました。

ご注意 ●優待品は、株主名簿に登録されているご住所にお届けいたします。 ●配送の日時指定はお受けいたしかねますので、ご了承ください。 ●株主様の住所変更のお申し出は、株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、株主様の個人情報は、法令および当社個人情報保護方針に基づき厳重に管理を行っております。

## 配当金・配当性向の推移

（注）1.株主の皆さまへの利益還元の機会を充実させるため、2020年3月期より中間配当を実施することといたしました。
2.2018年10月1日をもちまして当社普通株式について5株を1株にする株式併合を行いました。これに伴い、2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

# 会社概要(2021年3月31日現在)

## 会社概要

| | |
|---|---|
| 社名 | 第一工業製薬株式会社 |
| 創業 | 明治42年4月 |
| 創立 | 大正7年8月 |
| 資本金 | 88億9,500万円 |
| 従業員数 | 560名(連結1,061名) |

## 取締役、監査役(2021年6月25日)

| 役職 | 氏名 | 役職 | 氏名 |
|---|---|---|---|
| 代表取締役<br>会長兼社長 | 坂本 隆司 | 代表取締役<br>専務取締役 | 浦山 勇 |
| 常務取締役 | 山路 直貴 | 常務取締役 | 岡本 修身 |
| 取締役 | 河村 一二 | | |
| 取締役(社外取締役) | 青木 素直 | 取締役(社外取締役) | 谷口 勉 |
| 取締役(社外取締役) | 奥山 喜久夫 | | |
| 常勤監査役 | 藤岡 敏式 | 常勤監査役 | 大西 英明 |
| 監査役(社外監査役) | 髙橋 利忠 | 監査役(社外監査役) | 中 英也 |
| 監査役(社外監査役) | 橋本 克己 | | |

## 事業所

| | |
|---|---|
| ● 本店 | ● 四日市工場 千歳地区 |
| ● 本社・研究所 | ● 四日市工場 霞地区 |
| ● 東京本社 | ● 大潟工場 |
| ● 大阪支社 | ● 滋賀工場 |
| ● 名古屋支店 | |
| ● 九州支店 | |

## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 創業年月 | 明治42年4月(1909年4月) |
| 事業年度 | 4月1日から3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 配当 | 期末配当金受領株主確定日 3月31日<br>中間配当金受領株主確定日 9月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 発行済株式総数 | 10,684,321株(2021年3月31日現在) |
| お取扱窓口 | 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主さまの各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。<br>証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、みずほ証券(株)およびみずほ信託銀行(株)にてお取次いたします。 |
| お問合せ先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4<br>みずほ信託銀行(株) 証券代行部<br>フリーダイヤル 0120-288-324<br>(土・日・祝日を除く9:00～17:00) |
| 未払配当金のお支払 | みずほ信託銀行(株)および(株)みずほ銀行の各本店および全国各支店 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所(証券コード4461) |


**第一工業製薬株式会社**

〒601-8391 京都市南区吉祥院大河原町5

TEL 075-323-5911 FAX 075-326-7356

https://www.dks-web.co.jp


TOPIC

## ライフサイエンス事業展開

### カイコ冬虫夏草から認知機能を改善する新たな有用成分を発見

2021年1月28日(日本時間)、関係会社の株式会社バイオコクーン研究所は、国際学術誌「PLOS ONE」に論文を発表しました。養蚕技術を活用して得られたカイコ冬虫夏草から、認知機能を改善する可能性を示唆する新規有用成分「ナトリード®」を発見しました(老化マウス実験)。

これは、アルツハイマー病を代表とする認知症に対し、新たなアプローチとなることを示唆しています。

「ナトリード®」とその作用メカニズム(推定)

DKSレポート(統合報告書)はこちらのQRコードから

UD FONT

VEGETABLE OIL INK